

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Aブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Bコート 第4試合

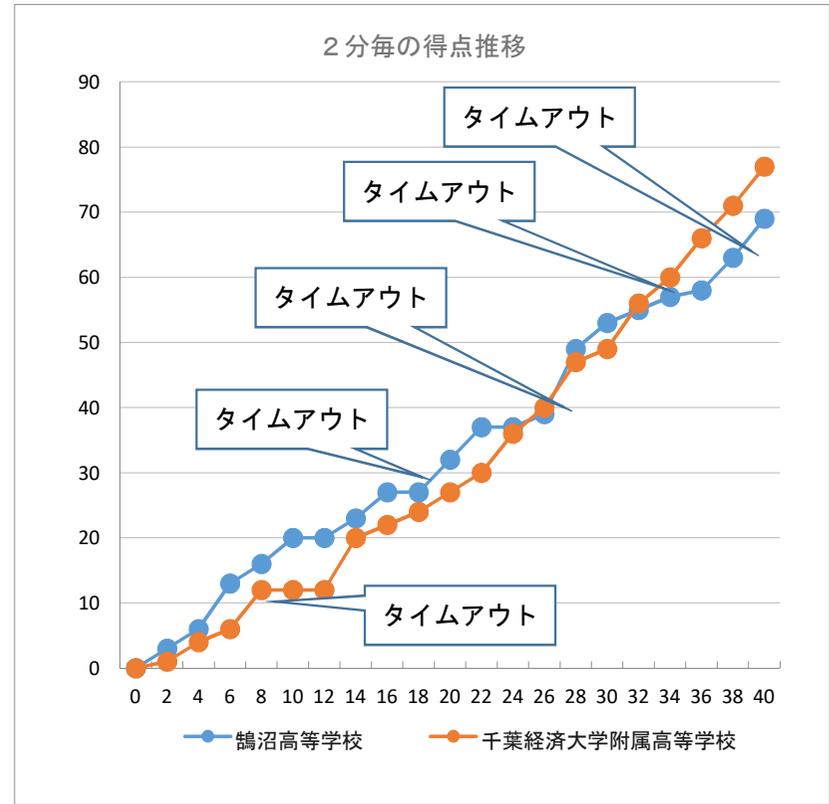
チームA	69	20 1st 12	77	チームB
鶴沼高等学校 (神奈川県)		12 2nd 16		千葉経済大学附属高等学校 (千葉県)
		21 3rd 21		
		16 4th 28		
		OT		

Aチーム: 鶴沼高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	吉田 歩加	9	0	0	3	13	3	3	3	0	3	3
2		5	平田 清翔	6	1	0	1	4	1	2	1	1	5	6
3	*	6	横山 季晴	14	2	6	4	10	0	0	2	3	1	4
4		7	後藤 葉の佳	29	6	9	4	18	3	4	4	0	5	5
5	*	8	山村 里緒	2	0	0	0	9	2	4	3	4	2	6
6	*	9	小野 冬優香	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
7		10	小石川 結	3	0	0	1	3	1	2	5	4	1	5
8		11	市原 結奈											
9	*	12	大西 梨子											
10		13	新倉 沙菜											
11		14	鹿嶋 樹々華	0	0	0	0	5	0	0	0	2	1	3
12		15	中條 涼奈	2	0	0	0	2	2	2	1	0	2	2
13		16	山田 結葉											
14		17	村上 蘭菜	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
15		18	中植 のん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
HC/TEAM			細木 美和子											
合計				69	9	15	15	65	12	17	21	14	22	36

Bチーム: 千葉経済大学附属高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	渡辺 花菜	11	0	1	4	11	3	4	3	2	2	4
2	*	5	佐藤 彩葉	8	0	2	2	9	4	6	1	1	2	3
3	*	6	古山 莉子											
4	*	7	伊藤 七海	14	0	3	5	0	4	5	1	4	5	9
5	*	8	遠藤 里保											
6	*	9	畠山 美咲	5	0	0	1	6	3	2	1	2	12	14
7		10	細井 友菜	2	0	1	1	3	0	0	0	0	2	2
8		11	楠見 南海											
9		12	細田 美空											
10		13	福原 琉衣											
11		14	川井田 風凜	17	1	2	4	11	6	6	4	2	5	7
12		15	伊藤 紗友希	20	0	0	8	0	4	6	1	5	2	7
13		16	藤井 友菜											
14		17	坂口 彩花											
15		18	角 陽菜多											
HC/TEAM			池端 直樹											
合計				77	1	9	25	40	24	29	11	16	30	46



戦評 記者: 森田 智美 (群馬県高体連)

1Q: 両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。互いにボールへのプレッシャーが強く、攻守の切り替えが速い。千葉経済は、ポストブレイクやドライブを中心に攻めるが、鶴沼のディフェンスが強く、シュートが決まらない中#14のスティールからドライブなどで得点する。対する鶴沼は、ファイブアウトからスペースをとり、1対1からシュートを狙う。#7の3Pやドライブ、#4の1対1を中心に得点する。20-12鶴沼8点リードで終了。

2Q: 千葉経済は、#4のポストブレイク、#9リバウンドシュートで、経過4分2点差まで迫る。鶴沼もすぐに反撃し、#7がシュートを決め流れを譲らない。互いに果敢に攻め続け、両チームのファールが積まれていく。32-28鶴沼リードのまま前半終了。

3Q: 千葉経済は、#15のバスケットカウントを皮切りに、#5の速攻のシュートで追上げムードとなり、経過5分、初めて逆転。鶴沼は、#7が3Pや合わせのシュートを決めるが、ファール4つで交代となる。その後、一進一退の攻防が続く。千葉経済は#7のドライブや#15がポストブレイクを決めるも、鶴沼#6が4本連続でシュートを決め、再び鶴沼が逆転する。53-49鶴沼リードで最終Qへ。

4Q: 千葉経済は、流れを少しずつ掴み始める。ペイントエリアを堅く守る鶴沼に対して、落ち着いてシュートを決める。鶴沼は、#7がコートに戻り、残り6分2-2ゾーンプレスを仕掛けるが、シュートに結び付くチャンスを作ることができない。69-77で千葉経済が再逆転し勝利を収め、2回戦に駒を進めた。終始ペイントエリアのせめぎ合いとなったが、互いに最後まで粘り強くプレイをし続ける好ゲームであった。

主審	第1副審	第2副審
穂川 苑子 (群馬県)	藤林 比登美 (埼玉県)	千葉 美幸 (東京都)